

研修5. 子育て世代包括支援センターに関する研修

精神科医療機関と連携した  
久留米市の取り組み



久留米市子ども未来部  
こども子育てサポートセンター  
保健師 成沢優子

くるっば 久留米市イメージキャラクター

■ **こども子育てサポートセンター**の設置

開設時期: 平成29年10月

支援対象: すべての妊産婦、乳幼児、学齢期以降(18歳まで)の児童とその保護者

母子保健・子育て支援  
組織・機能の一元化

■ **ワンストップによる支援体制**

多様で複雑な不安や悩み、複合的な相談内容等に対応するために、**専門職員を一体的に配置**

保健師・  
助産師

保育士

管理  
栄養士

社会福祉士

教育職

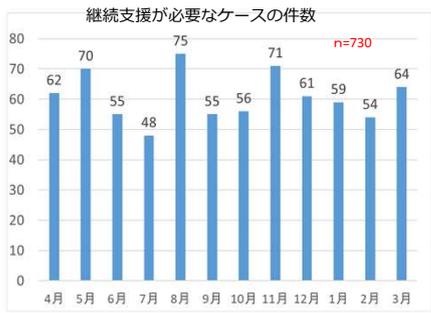
**本日の内容**

- 1 久留米市の概要
- 2 ハイリスク妊産婦の状況
- 3 精神科医療機関との連携
  - ・連携の流れ、考慮した点、今後の課題など

**2 ハイリスク妊産婦の状況**

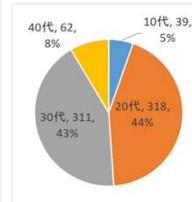
継続支援を必要とする妊産婦の概況 (R1年度)

継続支援が必要なケースの件数



月	件数
4月	62
5月	70
6月	55
7月	48
8月	75
9月	55
10月	56
11月	71
12月	61
1月	59
2月	54
3月	64

妊産婦の年齢



年齢	人数	割合
10代	39	5%
20代	318	44%
30代	311	43%
40代	62	8%

**1 久留米市の概要**

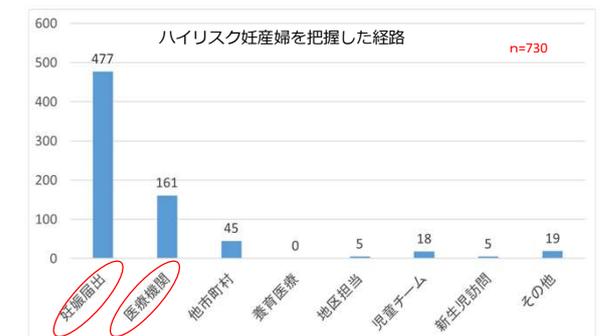
- 九州北部、福岡県南西部に位置
- 人口: 304,730人(令和2年10月1日)
  - ※平成20年に中核市となり保健所設置
- 世帯数: 137,226世帯(令和2年10月1日)
- 出生数: 2,632人(令和元年)
- 出生率: 8.6%(令和元年)



継続支援を必要とする妊産婦の概況 (R1年度)

把握契機は**妊娠届出**時の保健師によるアセスメントが最も多い。次いで、**医療機関からの依頼**となっている。

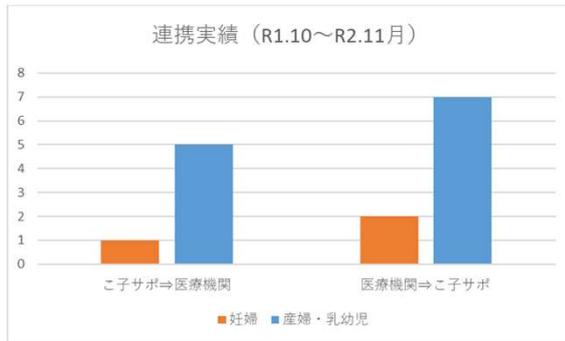
ハイリスク妊産婦を把握した経路



経路	件数
妊娠届出	477
医療機関	161
他市町村	45
養育医療	0
地区担当	5
児童チーム	18
新生児訪問	5
その他	19



### 様式を活用した精神科医療機関との連携実績



ご清聴ありがとうございました



### 精神科医療機関との連携強化の利点

- ・妊産婦の支援方針に関する情報を精神科医療機関と共有でき、**疾患の特徴**や**重症度**に応じた**適切な支援**が可能になる。
- ・妊産婦の**精神的リスクの低下**、**保健師の支援困難感**が軽減される。
- ・精神科・産科・小児科医療機関と行政の**役割分担**がより可能になる。

### 今後の課題など

- ・精神科医療機関とは様式を活用した情報共有の他、必要時に応じて**保健師の同伴受診**や**ケースカンファレンスの実施**を行いながらさらなる連携を深めていく必要がある。
- ・当市では、妊娠届の面談時マニュアルを作成し、**保健師の聞き取りと対応の標準化**を図っているが、精神疾患をもつ妊産婦に対する保健師のアセスメント・支援スキルをあげていくことも重要。
- ・今後、**事例の集積と症例検討**を通して産科・小児科・精神科医療機関との連携強化を進めていく必要がある。